

**自転車にやさしいまちづくり
提言書(素案)**

平成27年3月9日

松本市議会

目 次

1	はじめに	1
2	調査研究の経過	1
3	調査研究の内容	
(1)	他市の状況	2
ア	新潟市	2
イ	富山市	2
ウ	金沢市	3
(2)	本市の状況	3
4	提言	4

1 はじめに

松本市では、地球温暖化対策実行計画において、30kmの自転車走行空間を整備し自転車利用を進めることにより、2030年度までにCO₂を280t削減する目標値を定めています。

現在自転車は、人と環境にやさしい交通体系を目指す次世代交通政策において、また健康寿命延伸都市を実現するためにも、健康を増進する代表的な移動手段として重要になっています。

しかし本市のまちなかにおける自転車走行環境は安心して自由に乘れる状況に至ってはならず、また自動車の交通量も多く、様々な課題を抱えています。

今後、策定を予定している松本市総合交通戦略および自転車利用環境整備計画については、早い段階から市民の皆さんにしっかりと周知し、できることから迅速に取り組んでいくことが必要と考えます。

そこで、自転車の利用推進に取り組んでいる他の自治体の例を参考にしながら、本市における自転車政策を研究することとしました。

2 調査研究の経過

- | | |
|-----------|-------------------------|
| 平成26年6月2日 | テーマ決定（次世代交通政策～二輪車について～） |
| 7月23日 | 新潟市を視察 |
| 7月24日 | 富山市、金沢市を視察 |
| 9月16日 | 本市の現状と取り組みについて担当課と意見交換 |
| 10月29日 | 調査研究 |
| 11月13日 | 調査研究 |
| 11月28日 | 調査研究 |
| 1月15日 | 調査研究 |

3 調査研究の内容

(1) 他市の状況

ア 新潟市

平成24年に「新潟市公共交通及び自転車で移動しやすく快適に歩けるまちづくり条例」を制定し、ハード、ソフト両面から次世代交通政策の推進に取り組んでいる。走行環境・自転車環境の整備については、歩道や自転車レーン、駐輪場などを点で整備するのではなく、面的なネットワークの中で整備することに重点を置いている。

平成26年3月には「はしる（走行空間計画）」「とめる（駐輪計画）」「しくみ（放置自転車対策）」「まもる（啓発活動計画）」の4本を柱とした新潟市自転車利用環境計画を策定し、そのための施策の一つとして駐輪場の整備を進めているが、現在の利用率は半分以下であり、適正配置と規模が課題となっている。

イ 富山市

平成23年に「自転車の似合う街・とやま」を掲げ、「はしる（自転車走行空間の整備）」「とめる（駐輪環境整備）」「いかす（自転車の利便性の向上）」「まもる（ルール・マナーの意識向上）」の4本を柱とした富山市自転車利用環境整備計画を策定した。

また、短距離の自動車利用の見直しと、中心市街地の回遊性の強化を目的に、コミュニティサイクル¹を導入した。これは市内17カ所に設置した専用ステーションから、自由に自転車を借りて、任意のステーションに返却できる、24時間利用可能なレンタサイクル事業である。

¹ 自転車市民共同利用システム「アヴィレ」

ウ 金沢市

平成23年に「はしる（自転車通行空間整備）」「とめる（駐輪環境整備）」「つかう（自転車利用推進）」「まもる（ルール・マナー向上）」の4本を柱とする、金沢市まちなか自転車利用環境向上計画を策定した。

自転車交通量・経路調査を実施し、裏道や細街路を含めた自転車利用ニーズの高い路線を「まちなか自転車ネットワーク」と設定し、優先的に自転車走行空間を整備している。駐輪場については、既存施設の利用促進を図るとともに、まちなかに駐輪スペースを増設している。

また、環境にやさしいまちづくりと、まちなかの回遊性向上・賑わい創出のために、まちなかに19カ所のサイクルポートを設け、どのポートでも貸出・返却ができる公共のレンタサイクル²を導入した。

平成26年4月には、市や市民等の役割を明示した、自転車の安全な利用の促進に関する条例を制定した。

(2) 本市の状況

松本市では、地球温暖化対策実行計画において30kmの自転車走行空間を整備することを目標に定めているが、平成18年度から平成25年度末までに松本市が整備した自転車道、自転車レーンは約5.8km、県が整備した県道部分を含めても約7kmであり、全市的な整備には至っていない。

松本市のレンタサイクルには、(一社)松本観光コンベンション協会が管理運営を行う「すいすいタウン」と、大名町商興会と松本ホテル旅館協同組合が管理する「力車」があり、それぞれ無料で貸出

² 公共レンタサイクル「まちなか」

をしているが、観光客等の利用する側からみるとわかりにくく、利便性に問題があると考えられる。

駐輪場については、主要な駅を中心に整備されているが、まちなかの個店や小規模観光施設、パークアンドライド等の交通結節点などには駐輪場が不足しているため、自転車でのまちなか移動は難しい。

松本市議会交通・環境問題特別委員会「自転車道の整備分科会」が平成22年に自転車通学する高校生を対象に行ったアンケート結果によると、道路整備以外では、多くの学生が街灯やカーブミラーの設置を要望していた。

4 提言

(1) 自転車走行環境の整備

自転車でまちなかを安心安全に移動するため、寸断されていない連続した走行環境をネットワークとして整備する。

また、郊外における自転車利用者の安全を確保するため、自転車利用の多い施設（アルウィン等）の周辺道路においては、街灯の設置や道路段差を解消するなどの整備を行う。

- ア 回遊性と地域ニーズに考慮した自転車ネットワーク路線の策定
- イ 自転車走行環境の優先整備

(2) 駐輪スペースの確保

車から自転車への乗り換えを進めるために、交通結節点となる場所やまちなかの駐車場に駐輪場を整備し、サイクルアンドライド³やパー

³ 最寄りの駅やバス停まで自転車で行き、電車やバスに乗り換えて目的地まで移動すること。

クアンドサイクルライド⁴を推進する。

また商店街や交通管理者等と連携し、空き店舗や空き空間を有効に活用するなどして、まちなかの適所に利用しやすい駐輪場を整備する。

- ア サイクルアンドライド、パークアンドサイクルライドの推進
- イ まちなかの空き店舗などを活用した駐輪場の整備
- ウ 観光施設などへの使いやすい駐輪場の整備

(3) レンタサイクルの見直し

現在、「力車」と「すいすいタウン」という、2本立てのレンタサイクル事業が行われているが、観光客や地域住民にとってわかりにくいものとなっているため、利用しやすく親しみやすい事業となるように見直しを行う。

- ア 名称、利用方法の統一
- イ 松本らしいカラーを活かしたデザインへの変更
- ウ 貸出・返却しやすい場所の確保

(4) 積極的な市民への啓発

自転車走行ルールとマナーに対する意識の向上を図るために、年代や属性別に啓発を行うとともに、自転車保険への加入を促進する。

- ア 年代・属性別⁵の交通安全教室の実施
- イ スケアードストレート⁶自転車交通安全教室の拡大実施
- ウ 自転車保険への加入促進

⁴ 自家用車から、途中で自転車に乗り換えて目的地まで移動すること。

⁵ 高齢者や中高年、また町会や企業、団体といった単位を対象に、交通安全教室を実施する。

⁶ スタントマンによるリアルな交通事故再現を取り入れた自転車交通安全教室

「タクシーのワンメーター⁷くらいのまちなか移動は自転車で」をキーワードに、市と県、国が一体となった自転車利用を促進する体制づくりを松本市から発信してください。

自転車にやさしいまちは、歩行者にとっても歩きやすいバリアフリーの「安心・安全なまち」となることから、以上のことを提言します。

⁷ 市内A社 1.458km 市内B業者 1.5km